

**「第４期『ひょうご教育創造プラン』令和７年度取組状況報告書」及び  
「兵庫県教育委員会の点検・評価(令和７年度実績)報告書」について【概要】**

## **１ 趣 旨**

本県教育の総合的な計画である第４期「ひょうご教育創造プラン」及び同プランに基づく令和７年度実施計画の取組状況について取りまとめるとともに、第４期プランに掲げる施策・事業のうち教育委員会の所管に係る部分を、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２６条に規定される点検・評価として位置付け、報告書として取りまとめた。

## **２ 対 象**

第４期プランに掲げられた３つの基本方針を実現するため、１８の基本的方向ごとに令和７年度に実施した施策・事業を対象とした。

## **３ 方 法**

第４期プランに掲げられた施策ごとの指標の達成状況を踏まえながら、施策・事業の実績を評価し、今後の方向性について検討した。

## **４ 報告書の構成**

### **第１部 趣旨**

本報告書の法的根拠、構成、外部有識者及び第４期プランの概要について記載した。

### **第２部 第４期「ひょうご教育創造プラン」令和７年度取組状況報告書**

#### **第１章 実施計画体系図**

令和７年度実施計画体系図を記載した。

#### **第２章 指標の達成状況**

令和７年度実施計画に掲げる指標の達成状況をまとめた。

#### **第３章 各施策の状況**

第４期プランに掲げる１８の基本的方向について、各事業の取組状況、指標等から見た取組の成果・課題等について点検・評価を実施した。

#### **第４章 取組事業の詳細**

令和７年度に実施した各事業の実績をまとめた。

### **第３部 令和７年度兵庫県教育委員会所管の組織・運営に関する点検・評価**

#### **第１章 教育委員会会議及び教育委員の活動状況**

令和７年度に実施した教育委員会会議及び教育委員の活動状況について、点検・評価を実施した。

#### **第２章 重要施策体系表**

(※第２部第１章 実施計画体系図と同内容のため、記載は割愛)

#### **第３章 教育委員会が所管する事務の管理・執行状況の点検・評価**

令和７年度に実施した教育委員会が所管する事務の管理・執行状況について、点検・評価を実施した。(※第２部第３章 各施策の状況及び第４章 取組事業の詳細と同内容のため、記載は割愛)

#### **第４章 外部有識者の意見**

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２６条第２項の規定により、外部有識者から様々な意見・助言をいただいた。

## 【参考】関係法令

### ①「ひょうご教育創造プラン」取組状況報告関係

県行政に係る基本的な計画の議決等に関する条例（平成 18 年兵庫県条例第 46 号）  
（定義）

第 2 条 この条例において「基本的な計画」とは、県行政に係る政策の基本的な方向を総合的かつ体系的に定める計画（行政内部の管理に係る計画、特定の地域を対象とする計画及び計画期間が 5 年未満の計画を除く。）で、次に掲げるものをいう。

（1）県行政全般又は県行政各分野に係る計画で別表に掲げるもの

（2）前号に掲げる計画のほか、別に定める基本的な計画 ※

（実施状況の報告）

第 4 条 知事等は、毎年度、別表の 1 に掲げる計画の実施状況を議会に報告しなければならない。

2 議会は、総合的かつ計画的な県行政の推進のために必要があると認めるときは、知事等に対して、基本的な計画に係る実施状況の報告を求めることができる。

3 議会は、前 2 項の規定による報告があった場合において、当該計画に係る実施状況と当該計画とが正当な理由なく著しくかい離していると認めるときは、知事等に対し必要な意見を述べることができる。

### ※ 県行政に係る基本的な計画の議決等に関する条例に規定する基本的な計画

（平成 20 年告示第 1134 号）

県行政に係る基本的な計画の議決等に関する条例第 2 条第 2 号に規定する基本的な計画に、「ひょうご教育創造プラン」を規定

### ②教育委員会の点検・評価関係

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 第4期「ひょうご教育創造プラン」の令和7年度における主な取組状況

### 1 指標 (57 施策 111 指標)

指標について、達成状況を4段階で評価

◎：100%以上達成、○：概ね達成(90%以上～100%未満)、△：やや下回った(70%以上～90%未満)、  
▲：下回った(70%未満)、－：R8.10月に実績値確定予定、※：目標設定なし

| 基本方針                                  | 令和7年度実績 |    |    |   |    |   |     |
|---------------------------------------|---------|----|----|---|----|---|-----|
|                                       | ◎       | ○  | △  | ▲ | －  | ※ | 合計  |
| 1 予測困難な時代を生き抜く力を育む教育の推進               | 20      | 33 | 10 | 0 | 8  | 3 | 74  |
| 2 すべての子どもたちが自分らしく安心して過ごせる学校・家庭・地域等の構築 | 10      | 6  | 0  | 1 | 0  | 0 | 17  |
| 3 安心・安全で質の高い学びを実現する教育環境の整備・充実         | 5       | 1  | 3  | 2 | 9  | 0 | 20  |
| 計                                     | 35      | 40 | 13 | 3 | 17 | 3 | 111 |

1 実績値未確定、目標設定なしの項目を除く 91 項目中、◎及び○を合わせて 75 項目 (82%) が目標を概ね達成している。

2 令和7年度目標値を下回った▲3項目と、やや下回った△13項目は以下のとおり。

| ▲          | 区分                                        | 指標                                  | R7 実績値  | R7 目標値 |
|------------|-------------------------------------------|-------------------------------------|---------|--------|
| 目標値を下回った項目 | 基本方針2 すべての子どもたちが自分らしく安心して過ごせる学校・家庭・地域等の構築 |                                     |         |        |
|            | 基本的方向(2)                                  | 兵庫県版コミュニティ・スクールを導入している県立学校の増加[高・特]  | 56校     | 100校   |
|            | 基本方針3 安心・安全で質の高い学びを実現する教育環境の整備・充実         |                                     |         |        |
|            | 基本的方向(3)                                  | 教員採用選考試験の倍率                         | 4.0倍    | 6.0倍   |
|            | 基本的方向(4)                                  | 主幹教諭及び教諭の1人あたり年間平均超過勤務時間数(市町立学校)[中] | 496:09h | 360h   |

|   |                                   |                                                          |       |       |  |
|---|-----------------------------------|----------------------------------------------------------|-------|-------|--|
| △ | 基本方針1 予測困難な時代を生き抜く力を育む教育の推進       |                                                          |       |       |  |
|   | 基本的方向(1)                          | CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有すると思われる中学3年生の割合                     | 42.4% | 50%   |  |
|   | 基本的方向(1)                          | 自校の魅力・特色を実感している生徒の割合[高]                                  | 72.7% | 81%   |  |
|   | 基本的方向(2)                          | 自発的に地域活動やボランティア活動(地域の祭り等の伝統行事や清掃活動等：学校行事除く)に参加した生徒の割合[高] | 34.1% | 40%   |  |
|   | 基本的方向(2)                          | 1か月に1冊も本を読まない生徒の割合[高]                                    | 66.0% | 55.7% |  |
|   | 基本的方向(3)                          | 1週間の総運動時間(体育授業を除く)が60分未満の児童生徒割合の減少[小]                    | 13.6% | 11.9% |  |
|   | 基本的方向(5)                          | 県立特別支援学校高等部から一般就労した卒業生の割合[特]                             | 26.8% | 31.5% |  |
|   | 基本的方向(5)                          | 副籍を生かした居住地校交流の実施率[特]                                     | 34.0% | 43.7% |  |
|   | 基本的方向(7)                          | 県立大学における留学生数(派遣人数)                                       | 173人  | 200人  |  |
|   | 基本的方向(7)                          | 県立大学における共同研究・受託研究数                                       | 248件  | 300件  |  |
|   | 基本的方向(9)                          | 国民スポーツ大会で入賞(種別)する競技団体数の増加                                | 21団体  | 26団体  |  |
|   | 基本方針3 安心・安全で質の高い学びを実現する教育環境の整備・充実 |                                                          |       |       |  |
|   | 基本的方向(4)                          | 県立学校等におけるストレスチェック受検率が80%未満の所属数                           | 9箇所   | 8箇所   |  |
|   | 基本的方向(4)                          | 公立学校における教頭に占める女性の割合                                      | 24.2% | 27%   |  |
|   | 基本的方向(4)                          | 女性管理職受験者数の割合[小・中・高・特]                                    | 26.1% | 30%程度 |  |

## 2 基本方針ごとの取組状況

### (1) 基本方針 1 予測困難な時代を生き抜く力を育む教育の推進

#### ① 「確かな学力」の育成【小・中学校】

##### [取組状況等]

- すべての子どもたちの可能性を引き出すため、国の加配措置を最大限に活用した「兵庫型学習システム」を実施し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善や、多面的な児童生徒理解に基づく指導を実施した。
- 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた学力向上方策や発達段階に応じたプログラミング教育の推進等に取り組んだ。

| 施策                            | 指標名                                                             |    | R7 実績値        | R7 目標値           | 評価 | R10 目標値 |
|-------------------------------|-----------------------------------------------------------------|----|---------------|------------------|----|---------|
| ① 新しい時代に求められる資質・能力の育成         | 「全国学力・学習状況調査」における学力調査結果（平均正答率）【小学校】                             | 国語 | 68%           | 67%<br>(全国平均)    | ◎  | 全国平均以上  |
|                               |                                                                 | 算数 | 59%           | 58%<br>(全国平均)    | ◎  |         |
|                               | 「全国学力・学習状況調査」における学力調査結果（平均正答率）【中学校】                             | 国語 | 54%           | 54%<br>(全国平均)    | ◎  | 全国平均以上  |
|                               |                                                                 | 数学 | 49%           | 48%<br>(全国平均)    | ◎  |         |
|                               |                                                                 | 英語 | 47%<br>(R5)   | 46%<br>(R5 全国平均) | ※  |         |
|                               | 授業では、課題の解決に向けて、自分から取り組んでいた児童生徒の割合                               | 小  | 78.7%         | 80.3%<br>(全国平均)  | ○  | 全国平均以上  |
|                               |                                                                 | 中  | 72.5%         | 77.7%<br>(全国平均)  | ○  |         |
| ② 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実   | 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを含めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると思う児童生徒の割合 | 小  | 83.6%         | 84.9%<br>(全国平均)  | ○  | 全国平均以上  |
|                               |                                                                 | 中  | 82.3%         | 84.7%<br>(全国平均)  | ○  |         |
| ③ 情報活用能力（情報モラルを含む）の育成         | 情報活用の基盤となる知識や態度について指導することができる教員の割合                              |    | 88.3%<br>(R6) | 87%              | —  | 100%    |
| ④ 伝統と文化を尊重しグローバル化に対応する国際教育の強化 | CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有すると思われる中学3年生の割合                            |    | 42.4%         | 50%              | △  | 50%     |
| ⑤ 新たな価値を創造する教育の充実             | 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた学校の割合                  | 小  | 84.9%         | 86.9%<br>(全国平均)  | ○  | 全国平均以上  |
|                               |                                                                 | 中  | 72.4%         | 80.3%<br>(全国平均)  | ○  |         |
|                               | 総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をした学校の割合              | 小  | 92.0%         | 92.7%<br>(全国平均)  | ○  | 全国平均以上  |
|                               |                                                                 | 中  | 84.4%         | 91.5%<br>(全国平均)  | ○  |         |

##### [令和8年度の取組]

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現や「学びに向かう力」の育成等、学習指導要領を着実に実施すべく、授業改善に向けた実践的な教員研修の実施等、教員の指導力向上に取り組む。
- 一人一人に応じた学びの環境として「兵庫型学習システム」を引き続き推進し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善や、多面的な児童生徒理解に基づく指導の充実を図る。
- 「兵庫県版プログラミング教育スタートパック」や「ひょうご GIGA ワークブック」等の活用を通じて、引き続き発達段階に応じたプログラミング教育及び情報モラル教育の取組を推進する。

## ② 「確かな学力」の育成【高等学校】

### [取組状況等]

- 各校の特色に応じた学力向上に取り組むとともに、豊かな語学力やコミュニケーション能力の育成、ICTを活用した探究的・文理横断的な学びの充実等に取り組んだ。
- 「県立高等学校教育改革第三次実施計画」に基づき、社会の変化に柔軟に対応し自らの力で新しい社会を切り拓く力を育成できる魅力と活力ある学校づくりを推進した。

| 施策                           | 指標名                                  | R7 実績値        | R7 目標値         | 評価 | R10 目標値 |
|------------------------------|--------------------------------------|---------------|----------------|----|---------|
| ①新しい時代に求められる資質・能力の育成         | 対話的な学び・深い学びをしている生徒の割合[高]             | 76.1%         | 76%            | ◎  | 80%     |
| ②「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実   | 「学校の授業がよく分かる」と感じている生徒の割合 [高]         | 62.2%         | 65%            | ○  | 65%     |
| ③情報活用能力(情報モラルを含む)の育成         | 情報活用の基盤となる知識や態度について指導することができる教員の割合   | 88.3%<br>(R6) | 87%            | —  | 100%    |
| ④伝統と文化を尊重しグローバル化に対応する国際教育の強化 | CEFR A2 レベル相当以上の英語力を有すると思われる高校3年生の割合 | 55.3%         | 57%            | ○  | 60%     |
| ⑤新たな価値を創造する教育の充実             | 探究活動に関わる発表会等で発表した生徒の割合 [高]           | 68.2%         | 67.7%<br>(前年度) | ◎  | 前年度比増   |
| ⑥魅力と活力ある高校づくりの推進             | 自校の魅力・特色を実感している生徒の割合 [高]             | 72.7%         | 81%            | △  | 84%     |

### [令和8年度の取組]

- 生徒の学習意欲を高め、学力向上を推進するために、「ひょうご学力向上実践研究事業」等における取組を通して、学習指導要領を踏まえた授業改善に着手に取り組む。
- 研究指定校において、生徒の BYOD 端末に英語学習支援アプリを導入し、授業でのアプリ活用と ALT による指導を効果的に融合させる英語学習指導法について、授業研究・授業実践を行うとともに多くの学校に研究・実践の成果を共有する。
- 国のグランドデザインを踏まえて「県立高等学校教育改革第三次実施計画」の後期計画を策定し、県立高校のさらなる魅力・特色づくりや、望ましい規模と配置、入学者選抜制度・方法の工夫と改善を推進する。また、「県立高校魅力アップ推進事業」を実施し、「学びたいことが学べる学校づくり」を一層推進するため、探究活動や大学との連携活動等の内容の充実及び連携先の多様化を図るなど県立高校の特色ある取組を支援するとともに、発展的統合対象校の伝統・特色の継承・発展へ向けた検討や対象校の交流を支援し教育活動の活性化を図る。加えて、県立高校の魅力や特色を中学生・保護者に効果的に発信するため、今年度から県立高校進学フェアを開催し、高校生や教員と直接対話できる機会を設けるなど、効果的な情報発信に取り組む。

### ③ 「豊かな心」の育成

#### [取組状況等]

- 兵庫型「体験教育」を通じて地域とのつながりを実感させ、児童生徒のふるさと意識の醸成を図るとともに、主体的・自発的な活動を通じて、児童生徒の自立心を育む取組の充実を図った。
- 学校の教育活動全体を通じた道徳教育を家庭・地域との連携のもとに推進するため、教員の指導力向上を図るとともに、道徳の授業公開や兵庫版道徳教育副読本の家庭での活用を推進した。
- 児童生徒の人権課題解決に向けた主体的な実践力の育成をするため、キャリアステージに応じた指導力養成研修を実施した。
- 学校、家庭、地域、行政、関係機関が一体となって組織的にいじめの未然防止、早期発見・早期対応を図る全県的・地域的な連携体制の強化に取り組んだ。
- 不登校児童生徒数の増加を踏まえ、全県一丸となり、不登校児童生徒支援を推進する体制を構築し、不登校対策を総合的に実施した。
- 読書に携わる地域人材を活用し、子どもの発達段階に応じて、不読率の低減等に向けて地域と学校が協力して行う取組のモデル構築を図った。

| 施策                | 指標名                                                                |   | R7 実績値 | R7 目標値          | 評価 | R10 目標値 |
|-------------------|--------------------------------------------------------------------|---|--------|-----------------|----|---------|
| ①兵庫型「体験教育」の推進     | 自然学校で主体的な活動を促す取組を実施した学校の割合                                         |   | 98.4%  | 100%            | ○  | 100%    |
| ②ふるさと意識を醸成する教育の推進 | 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合                                     | 小 | 80.9%  | 81.3%<br>(全国平均) | ○  | 全国平均以上  |
|                   |                                                                    | 中 | 75.1%  | 75.3%<br>(全国平均) | ○  |         |
|                   | 自発的に地域活動やボランティア活動（地域の祭り等の伝統行事や清掃活動等：学校行事除く）に参加した生徒の割合 [高]          |   | 34.1%  | 40%             | △  | 40%     |
| ③道徳教育の推進          | 特別の教科 道徳において、取り上げる題材を児童生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしている学校の割合 | 小 | 96.8%  | 96.6%<br>(全国平均) | ◎  | 全国平均以上  |
|                   |                                                                    | 中 | 96.2%  | 97.1%<br>(全国平均) | ○  |         |
|                   | 自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合                                             | 小 | 86.1%  | 86.9%<br>(全国平均) | ○  | 全国平均以上  |
|                   |                                                                    | 中 | 85.3%  | 86.2%<br>(全国平均) | ○  |         |
| ④人権教育の推進          | 人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合                                            | 小 | 96.5%  | 96.4%<br>(全国平均) | ◎  | 全国平均以上  |
|                   |                                                                    | 中 | 96.7%  | 96.6%<br>(全国平均) | ◎  |         |

|          |                                          |   |               |                    |   |        |
|----------|------------------------------------------|---|---------------|--------------------|---|--------|
| ⑤いじめへの対応 | いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う<br>児童生徒の割合     | 小 | 97.0%         | 100%               | ○ | 100%   |
|          |                                          | 中 | 95.9%         | 100%               | ○ |        |
|          | いじめの実態把握のため、アンケート調査を実施している学校の割合（学期に1回以上） | 小 | 100%<br>(R6)  | 100%               | — | 100%   |
|          |                                          | 中 | 100%<br>(R6)  | 100%               | — |        |
|          |                                          | 高 | 100%<br>(R6)  | 100%               | — |        |
| ⑥不登校への対応 | 不登校児童生徒数の全児童生徒数に占める割合 [小・中・高]            |   | 3.43%<br>(R6) | 3.69%<br>(R6 全国平均) | — | 全国平均以下 |
|          | 不登校児童生徒が学校内外の機関等で専門的な相談・指導等を受けた割合 [小・中]  |   | 47.0%<br>(R6) | 61.7%<br>(R6 全国平均) | — | 全国平均以下 |
| ⑦読書活動の充実 | 学校の授業時間以外に、平日全く本を読まない児童生徒の割合             | 小 | 30.4%         | 29.2%<br>(全国平均)    | ○ | 全国平均以下 |
|          |                                          | 中 | 45.4%         | 41.8%<br>(全国平均)    | ○ |        |
|          | 1か月に1冊も本を読まない生徒の割合 [高]                   |   | 66.0%         | 55.7%<br>(全国平均)    | △ | 全国平均以下 |

#### [令和8年度の取組]

- 感謝の心やふるさとへの愛着心を育むため、児童生徒が地域の文化行事や伝統行事、ボランティア活動等に主体的に参加し、創意工夫しながら、地域の人々とのつながりを深めて地域の魅力を発見する取組を充実させるための兵庫型「体験教育」を推進する。特に県立高校では、「県立高校ふるさと共創プロジェクト」において、取組成果を全県に発表する機会までを体系的に位置づけ、優れた取組を表彰することにより、生徒の主体的な活動の一層の促進につなげる。
- 児童生徒の自尊感情の育成やよりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳教育推進事業を通して、教員の授業力向上や学校と家庭・地域が連携した道徳教育の充実を図る。
- すべての人々の人権が尊重され、相互に共存し得る平和で豊かな社会を実現に向け、資質向上研修等を体系的に実施するとともに、人権教育資料等の効果的な活用を通して、指導方法の工夫・改善、指導力の向上を図る。また、地域における人権課題の把握や学習・交流活動の充実により、他者と共生する態度を育成し、心と心が豊かにつながる人権教育を一層推進する。
- いじめ把握のアンケート調査等を実施することに加え、心の健康観察「兵庫県版ストレスチェックシート」を活用することにより、些細なことでも見逃さず、各校で積極的に認知するよう周知・啓発を図り、未然防止、早期発見・早期解決に取り組む。
- ひょうご不登校対策プロジェクトを総合的に推進する中で、不登校児童生徒支援員の配置拡充、積極的な情報発信に努めるとともに、フリースクール等民間施設へ通う児童生徒への支援を進める。さらに、保護者を支援する「親の会等交流会」、児童生徒と保護者への調査研究を行うことで、不登校児童生徒や保護者の意思を十分に尊重しつつ、多様な支援の実施を推進する。
- 読書が魅力的なものと伝えられる環境づくりに取り組むため、ひょうご子ども読書活動推進フォーラムにおいて、県立高校教職員に向けて高校生へ読書の魅力を発信する活動を紹介する。

#### ④ 「健やかな体」の育成

##### [取組状況等]

- 健康で望ましい食習慣の形成を図るため、「学校における食育実践プログラム」(改訂版)や「食育ハンドブック」「ひょうごの食べ物資料集」等を活用し、すべての学校で充実した食育の推進に取り組んだ。
- 体力アップサポーターの派遣等、児童生徒の体力・運動能力の向上に取り組んだ。
- 国の「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」の方針を踏まえ、令和8年度からの休日の部活動の段階階的な地域移行を円滑に行うため、拠点校(地域)を指定し、実践研究を実施した。

| 施策          | 指標名                                     |   | R7 実績値        | R7 目標値         | 評価 | R10 目標値 |
|-------------|-----------------------------------------|---|---------------|----------------|----|---------|
| ①健康教育・食育の推進 | 規則正しく1日3度(朝・昼・夕)食事をすることは大切であるとする児童生徒の割合 | 小 | 96.9%         | 100%           | ○  | 100%    |
|             |                                         | 中 | 97.5%         | 100%           | ○  |         |
|             | 薬物乱用防止教室を開催した学校の割合                      | 中 | 87.4%<br>(R5) | 100%           | —  | 100%    |
|             |                                         | 高 | 97.8%<br>(R5) | 100%           | —  |         |
| ②体力・運動能力の向上 | 1週間の総運動時間(体育授業を除く)が60分未満の児童生徒割合の減少      | 小 | 13.6%         | 11.9%<br>(前年度) | △  | 前年度比減   |
|             |                                         | 中 | 15.2%         | 15.1%<br>(前年度) | ○  |         |
| ③部活動改革の推進   | 地域展開又は地域連携に取り組む市町数                      |   | 38市町<br>組合    | 38市町<br>組合     | ◎  | *       |

\*...兵庫県部活動地域移行計画により全市町組合教委で取り組むこととしている R8 年度まで目標設定

##### [令和8年度の取組]

- 学校・家庭・地域の連携体制に基づく食育を推進するために、「食育ハンドブック」等を活用し、学校教育活動全体を通じた組織的・計画的・継続的な食育推進体制の充実を図るとともに、家庭・地域と連携した食育を推進する。
- 「みんなで体力チャレンジプロジェクト」を新たに実施し、体育の授業の楽しさや、運動や体力への興味・関心を高め、運動意欲の向上を図る。
- 中学校部活動地域展開の推進のために、国の新たなガイドラインを参酌した「兵庫県部活動地域展開ガイドライン」を策定するとともに、民間企業・関係団体で組織された「ブカツ・サポート・コンソーシアム」との連携、部活動地域展開に関する各種相談窓口業務を行う地域クラブサポートセンターの活用などにより、各市町の部活動地域展開を全県一丸となって取り組む。

## ⑤ 社会的自立に必要な資質・能力・態度の育成

### [取組状況等]

- 小・中・高等学校 12 年間の学びのつながりを意識したキャリア形成と自己実現に向け、児童生徒のキャリア発達や意識、教職員の取組等の実態把握を通して県全体で工夫・改善し、子どもたち一人一人のキャリア発達を小学校から高校まで一貫して支援するなど、キャリア教育の充実を図った。

| 施策                    | 指標名                                                           |   | R7 実績値        | R7 目標値             | 評価 | R10 目標値 |
|-----------------------|---------------------------------------------------------------|---|---------------|--------------------|----|---------|
| ①兵庫型「キャリア教育」の推進       | 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合                                          | 小 | 82.3%         | 83.1%<br>(全国平均)    | ○  | 全国平均以上  |
|                       |                                                               | 中 | 65.2%         | 67.5%<br>(全国平均)    | ○  |         |
|                       | 将来の生き方や職業について考え、それを実現するために努力している生徒の割合 [高]                     |   | 67.3%         | 71%                | ○  | 74%     |
| ②社会的資質・能力の発達の支援       | 学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行った学校の割合              | 小 | 99.1%<br>(R5) | 98.9%<br>(R5 全国平均) | ※  | 全国平均以上  |
|                       |                                                               | 中 | 97.3%<br>(R5) | 98.3%<br>(R5 全国平均) | ※  |         |
| ③主体的に社会の形成に参画する態度等の育成 | 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合【再掲】                            | 小 | 80.9%         | 81.3%<br>(全国平均)    | ○  | 全国平均以上  |
|                       |                                                               | 中 | 75.1%         | 75.3%<br>(全国平均)    | ○  |         |
|                       | 自発的に地域活動やボランティア活動（地域の祭り等の伝統行事や清掃活動等：学校行事除く）に参加した生徒の割合 [高]【再掲】 |   | 34.1%         | 40%                | △  | 40%     |

### [令和 8 年度の取組]

- 県全体の取組の工夫・改善を図るため、キャリア教育研究推進委員会の開催や実践研究事業の実施に加え、小・中・高等学校 12 年間を見通したキャリア教育に関する教員の指導力向上に資する取組や、小中高 12 年間を繋ぐキャリア教育シンポジウムを実施することで、児童生徒一人一人のキャリア発達を小学校から高校まで一貫して支援し、キャリア教育の充実を推進する。

## ⑥ 特別支援教育の推進

### [取組状況等]

- 特別支援学校高等部卒業生の自立と社会参加に向け、個々のニーズに応じた進路実現をめざすため、企業等関係機関と連携した就労支援体制のもとで、企業への理解啓発を推進した。
- 「教育・家庭・福祉の連携マニュアル」を活用し、学校と放課後等デイサービス事業所との連携等、教育・家庭・福祉における一貫した支援を組織的・継続的かつ計画的に実施した。
- 地域の実情や児童生徒数の動向等を踏まえ、「県立特別支援学校における教育環境整備方針」に基づき、障害種別に応じた教育環境整備を計画的に推進した。

| 施策                        | 指標名                                                        | R7 実績値 | R7 目標値 | 評価 | R10 目標値 |
|---------------------------|------------------------------------------------------------|--------|--------|----|---------|
| ①連続性のある多様な学びの場における教育の充実   | 「個別の教育支援計画」等の引継ぎが必要な生徒のうち、進学先の高等学校等への引継ぎを行った生徒の割合 [中・高]    | 92.6%  | 97.6%  | ○  | 100%    |
|                           | 県立特別支援学校高等部から一般就労した卒業生の割合 [特]                              | 26.8%  | 31.5%  | △  | 34.5%   |
|                           | 副籍を生かした居住地校交流の実施率 [特]                                      | 34.0%  | 43.7%  | △  | 50%     |
| ②連携による切れ目ない一貫した相談・支援体制の充実 | 教育・家庭・福祉との連携に向けて、放課後等デイサービス事業所とケース会議を開催した学校の割合 [小・中・特]     | 70.2%  | 66.6%  | ◎  | 70.2%   |
|                           | 県立特別支援学校における福祉、企業、地域等関係者を対象としたオープンスクール実施日数（1校あたりの平均日数） [特] | 6.9 日  | 6.6 日  | ◎  | 8.5 日   |

### [令和8年度の取組]

- 特別支援学校高等部卒業生の自立と社会参加に向け、個々のニーズに応じた進路実現をめざすため、兵庫県特別支援学校技能検定をより多くの企業等に周知していくとともに、地域別ワークフォーラムの開催やキャリア教育研究開発校の指定により、企業等との連携や社会状況に応じたキャリア教育の充実を一層進める。
- 各種会議等を通じて、学校間交流や副籍を生かした居住地校交流についての実践発表、有識者による講演等を通して指導内容や指導方法の一層の充実を図るとともに、障害のある生徒が居住する地域との結びつきを継続し、共生社会の担い手を育成するという趣旨等を周知する。
- 「教育・家庭・福祉の連携マニュアル (R3.3) (兵庫県教育委員会)」に加えて、兵庫県の事例が掲載されている「発達障害のある児童生徒等への支援に向けた教育・福祉の連携事例集 (R7.5) (文部科学省)」を学校等に周知する。
- 地域の実情や児童生徒数の動向等を踏まえ、狭隘化・老朽化対策をさらに推進するものとして、「兵庫県立特別支援学校整備推進計画 (R8.2)」に基づき、引き続き障害種別に応じた教育環境整備を計画的に推進する。

## ⑦ 幼児期の教育の充実

### [取組状況等]

- 教員等の能力のアップ、保護者の理解促進等の方策について、幼稚園、保育所、認定こども園の関係する機関が連携して協議する幼児教育連携促進協議会を設置し、幼児教育の更なる充実を図った。
- 幼児期と児童期の円滑な接続を推進するため、幼児教育施設と接続する小学校において、めざす子どもの姿を基にした継続的、発展的な連携、接続に向けた体制づくり等について実践研究を実施した。

| 施策                   | 指標名                                  | R7 実績値 | R7 目標値 | 評価 | R10 目標値 |
|----------------------|--------------------------------------|--------|--------|----|---------|
| ①幼児期における教育の質の向上      | 家庭や地域と連携した保育活動を実施している公立幼稚園・認定こども園の割合 | 98.6%  | 100%   | ○  | 100%    |
| ②幼保小の協働による架け橋期の教育の充実 | 小学校との連携を実施した公立幼稚園・認定こども園の割合          | 99.3%  | 100%   | ○  | 100%    |

### [令和8年度の取組]

- 幼児教育を取り巻く課題は複雑化しており、全県的な対応が求められていることから、これまでの取組を生かしながら、幼児教育の更なる質の充実と幼保小の連携を推進する本県の中核拠点として本県の幼児教育センターである「ひょうごっ子幼保小の架け橋教育支援センター」を設置する。センターでは、幼児教育の専門家をセンター長とし、幼児教育の専門的な知見や豊富な実践経験をもつ「幼児教育アドバイザー」を配置して、年間を通じた、市町、幼稚園・保育所等への訪問指導や各種研修会での指導助言を行い、幼児期と児童期の架け橋期における教育の充実を図る。
- 全県的な幼児教育の更なる質の向上に取り組むため、幼稚園、保育所、認定こども園、小学校及び保護者等に対し、「すくすく ひょうごっ子」（幼児教育資料・親子ノート）やその活用方法をまとめた動画の活用の推進を図る。

## ⑧ 高等教育（大学）の推進

### [取組状況等]

- 留学生の派遣・受入れ、また、各学部での学びに加え、グローバルな視点と公共マインドを持ち、グローバルリーダーとなるための素養・能力を身に付ける副専攻プログラムとして、グローバルリーダー教育プログラムを実施した。
- 芸術文化観光専門職大学において、芸術文化と観光の両分野を架橋した学びの意義を広く地域社会と共有し、地域と連携した教育を展開することにより、地域のニーズに応える人材育成を進めた。
- 県内の若者が学費負担への不安なく、希望する教育を受けられるよう兵庫県立大学、芸術文化観光専門職大学について、県内在住者の学部2～4年生、大学院全学年の授業料を無償化した。

| 施策                   | 指標名                                          | R7 実績値  | R7 目標値          | 評価 | R10 目標値 |
|----------------------|----------------------------------------------|---------|-----------------|----|---------|
| ① グローバル社会で活躍できる人材の育成 | 県立大学における留学生数（派遣人数）                           | 173 人   | 200 人           | △  | 200 人   |
|                      | 県立大学における留学生数（受入人数）                           | 299 人   | 250 人           | ◎  | 250 人   |
|                      | 専門職大学における海外の大学との協定件数（累計）                     | 13 件    | 10 件            | ◎  | 10 件    |
| ② 地域のニーズに応える専門人材の育成  | 県立大学における地域連携事業の実施件数                          | 1,579 件 | 1,250 件         | ◎  | 1,250 件 |
|                      | 県立大学における共同研究・受託研究数                           | 248 件   | 300 件           | △  | 300 件   |
|                      | 専門職大学地域リサーチ&イノベーションセンターにおける地域連携事業への参加学生数（累計） | 256 人   | 180 人           | ◎  | 180 人   |
| ③ 高度な専門性を有する人材の育成    | 先端 DX（デジタルトランスフォーメーション）人材の育成数                | 169 人   | 183 人           | ○  | 183 人   |
|                      | 県立大学における入学志願者倍率（学部・一般選抜）                     | 6.5 倍   | 5.6 倍<br>(全国平均) | ◎  | 全国平均以上  |

### [令和8年度の取組]

- デジタルトランスフォーメーションやグリーントランスフォーメーションの進展等、大学を取り巻く社会環境の急激な変化に対応した個性、特色豊かな魅力ある県立大学づくりを推進するとともに、理系人材の育成、教育・研究へのAIの活用、学際的な大学院教育の提供等に取り組む。また、新長田ブランチ等を活用し、企業との共同研究、企業人材の育成等を推進する。
- 芸術文化観光専門職大学について、大学の特色をいかした教育・研究活動を推進するとともに、多様な主体と協働しながら地域課題の解決に取り組む。
- 兵庫県立大学、芸術文化観光専門職大学における県内在住者の入学金及び授業料の無償化について、全学年に対象を拡大する。

## ⑨ 私学教育の振興

### [取組状況等]

- 私立学校の教育水準の維持向上、保護者の経済的負担の軽減及び学校経営の安定を図るため、設置者に対する経常的経費の補助や、施設の耐震補強及び耐震改築工事に対して助成した。
- 保護者の教育費負担を軽減するため、私立高等学校等生徒授業料軽減補助や奨学給付金事業を実施した。

| 施策                       | 指標名                 | R7 実績値  | R7 目標値  | 評価 | R10 目標値 |
|--------------------------|---------------------|---------|---------|----|---------|
| ①私立幼稚園・小学校・中学校・高校の教育への支援 | 私学展・私学フェスティバルへの来場者数 | 8,427 人 | 4,500 人 | ◎  | 5,400 人 |
| ②私立専修学校・各種学校の教育への支援      | 専門学校フェスタへの来場者数      | 6,407 人 | 6,500 人 | ○  | 6,500 人 |

### [令和8年度の取組]

- 私立学校と公立学校が協調するとともに、互いに競い合い、切磋琢磨する環境をつくり、私立学校の多様な個性や能力を伸ばす教育の充実を図る。
- 専修学校・各種学校に対して、産業界や地域と連携した職業技術教育や生涯学習機能の充実のための助成に取り組むとともに、専門学校フェスタについては、動画配信等により来場者以外への PR に取り組む。
- 公立学校に比べ私立学校施設の耐震化は遅れている状況にあり、引き続き施設の耐震化、防災機能強化を継続的に支援する。

## ⑩ 人生 100 年を通じた学びの推進

### [取組状況等]

- 誰もが芸術文化に親しみ、より身近に感じられる機会を提供するため、ひょうごプレミアム芸術デーを開催し、芸術文化施設において無料開放や無料イベントを実施した。
- 「兵庫県文化財保存活用大綱」に基づき、各市町における保存・活用の取組方針等を定めた文化財保存活用地域計画の作成を推進した。
- ワールドマスターズゲームズ 2021 関西に向けて醸成してきたスポーツ機運を継続し、更に裾野を広げるため関西マスターズゲームズを開催し、多くの競技団体で大会を実施した。
- 女性のスポーツ環境の向上、女性指導者の育成、女性スポーツ人口の増加をめざし、女性の競技別大会の開催や競技の枠を越えた研修会に取り組むひょうご女性スポーツの会の活動を支援した。

| 施策                    | 指標名                                         | R7 実績値    | R7 目標値      | 評価 | R10 目標値     |
|-----------------------|---------------------------------------------|-----------|-------------|----|-------------|
| ①生涯学習・社会教育の振興         | 社会教育関係職員等研修の受講者数                            | 1,195 人   | 1,000 人以上   | ◎  | 1,000 人以上   |
| ②社会教育施設の充実            | 美術館・博物館における特別展等の内容に満足している来館者の割合             | 91.7%     | 92% 以上      | ○  | 95%以上       |
|                       | 県立社会教育施設における多様な学びのプログラムに参加した人数              | 121,147 人 | 120,000 人以上 | ◎  | 120,000 人以上 |
| ③文化芸術の振興と文化財の保存・活用    | 住んでいる地域には、自慢したい地域の「宝」（風景や産物、文化など）があると思う人の割合 | 43.3%     | 47%         | ○  | 50%         |
| ④「する・みる・ささえる」スポーツへの参画 | 国民スポーツ大会で入賞（種別）する競技団体数の増加                   | 21 団体     | 26 団体       | △  | 28 団体       |

### [令和 8 年度の取組]

- ヒョーゴ・ミュージアム・サポーターズや特設サイト【FUN！FUN？MUSEUM！！】を活用し、施設訪問の様子や施設周辺の情報などを幅広く紹介するとともに、市町・民間事業者等とも連携したひょうごプレミアム芸術デーにより、県民が芸術文化に親しむ機会を提供する。
- 各市町における保存・活用の取組方針等を定めた文化財保存活用地域計画の作成を推進することにより、歴史文化遺産の確実な継承を図る。
- 競技団体との連携のもと、国民スポーツ大会等に出場する選手の競技力強化を図るほか、子どもの運動・スポーツが好きになる機会の創出を推進し、競技者の裾野拡大を図ることによって中・長期的な競技力向上に取り組み、次世代を担うジュニアアスリートを育成し、トップアスリート層の拡大を図る。
- 運動・スポーツを中断しがちな子育て期等を含め、幅広い年齢層の女性が参加しやすい環境を設けた大会の支援やファミリー層を対象としたイベントを開催し、女性スポーツの振興を図るとともに、研修会等を通じて、スポーツ組織における女性リーダーの育成支援を目指す。

(2) 基本方針 2 すべての子どもたちが自分らしく安心して過ごせる学校・家庭・地域等の構築

① 多様性の尊重と包摂性のある教育の推進

[取組状況等]

- 多文化共生社会の実現をめざす教育の充実のため、外国人児童生徒等に対する教育的支援等を実施した。
- 人権尊重や男女共同参画についての理解を深める取組を推進するため、人権教育資料の活用の推進や教員研修に取り組んだ。

| 施策                  | 指標名                                                            |   | R7 実績値        | R7 目標値             | 評価 | R10 目標値 |
|---------------------|----------------------------------------------------------------|---|---------------|--------------------|----|---------|
| ①特別支援教育の推進          | 「個別の教育支援計画」等の引継ぎが必要な生徒のうち、進学先の高等学校等への引継ぎを行った生徒の割合 [中・高] 【再掲】   |   | 92.6%         | 97.6%              | ○  | 100%    |
|                     | 県立特別支援学校高等部から一般就労した卒業生の割合[特] 【再掲】                              |   | 26.8%         | 31.5%              | △  | 34.5%   |
|                     | 副籍を生かした居住地校交流の実施率 [特] 【再掲】                                     |   | 34.0%         | 43.7%              | △  | 50%     |
|                     | 教育・家庭・福祉との連携に向けて、放課後等デイサービス事業所とケース会議を開催した学校の割合 [小・中・特] 【再掲】    |   | 70.2%         | 66.6%              | ◎  | 70.2%   |
|                     | 県立特別支援学校における福祉、企業、地域等関係者を対象としたオープンスクール実施日数（1校あたりの平均日数）[特] 【再掲】 |   | 6.9 日         | 6.6 日              | ◎  | 8.5 日   |
| ②不登校児童生徒への支援        | 不登校児童生徒数の全児童生徒数に占める割合 [小・中・高] 【再掲】                             |   | 3.43%<br>(R6) | 3.57%<br>(R6 全国平均) | —  | 全国平均以下  |
|                     | 不登校児童生徒が学校内外の機関等で専門的な相談・指導等を受けた割合 [小・中] 【再掲】                   |   | 47.0%<br>(R6) | 61.2%<br>(R6 全国平均) | —  | 全国平均以上  |
| ③多様なニーズへの対応         | 日本語指導が必要な外国人児童生徒等に対し、日本語による日本語指導を実施している学校の割合 [小・中・高・特]         |   | 82.2%         | 88.5%              | ○  | 90%     |
| ④男女共同参画の視点に立った教育の推進 | 個別の人権課題「女性」に取り組んだ学校の割合                                         | 小 | 84.1%         | 75.5%              | ◎  | 83.5%   |
|                     |                                                                | 中 | 80.3%         | 79.5%              | ◎  |         |
|                     |                                                                | 高 | 94.6%         | 93.5%              | ◎  | 96%     |

[令和 8 年度の取組]

- 日本語指導が必要な外国人児童生徒等の増加及び多言語化を踏まえ、日本語指導に関わる支援員の配置や派遣の充実を図るとともに、教員研修や教育相談の充実に取り組む。
- 男女共同参画の視点に立った教育を推進するため、人権教育資料等の周知および効果的な活用方法に関する研修の充実を図る。

## ② 学校・家庭・地域との協働による豊かな学びの推進

### [取組状況等]

- 家庭の教育力向上を図るとともに、地域による子どもたちの安全・安心を守る活動等を展開するため、PTA を核として、地域住民の参画と協働による PTCA 活動を支援した。
- 学校と地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」と、学校と地域が相互にパートナーとして行う「地域学校協働活動」の一体的な実施に取り組んだ。

| 施策         | 指標名                                     | R7 実績値    | R7 目標値     | 評価 | R10 目標値    |
|------------|-----------------------------------------|-----------|------------|----|------------|
| ①家庭の教育力の向上 | PTCA 教育支援活動への参加人数 [小・中]                 | 124,999 人 | 80,000 人以上 | ◎  | 80,000 人以上 |
| ②地域の教育力の向上 | コミュニティ・スクールを導入している公立小中義務教育学校の増加 [小・中・義] | 71.0%     | 65%        | ◎  | 80%        |
|            | 兵庫県版コミュニティ・スクールを導入している県立学校の増加 [高・特]     | 56 校      | 100 校      | ▲  | 全校         |

### [令和 8 年度の取組]

- PTA を核として、地域の子育てや子どもの安全・安心の確保等を地域ぐるみで行う教育支援活動の充実を図るため、地域住民の参画と協働を得て実施する PTCA 活動を支援する。
- コミュニティ・スクールの導入推進及び活動の充実に向けた方策についての実践研究を通じ、市町におけるコミュニティ・スクール導入推進及び発展・拡充に取り組む。
- 地域と協議・連携して活動する兵庫県版コミュニティ・スクール及び法に基づくコミュニティ・スクールの導入を推進するとともに、活動の充実に向けて、研修会の実施や広報誌による周知・啓発、文部科学省 CS マイスター及び県地域連携アドバイザーの派遣等の伴走支援を行う。

## ③ 子どもの育ちを社会全体で支える取組の推進

### [取組状況等]

- 「ひょうご教育の日」を制定し、すべての県民が兵庫の教育について考える機運を高め、次世代を担う子どもたちの教育に関する取組を実施した。

| 施策                            | 指標名                                               | R7 実績値    | R7 目標値     | 評価 | R10 目標値    |
|-------------------------------|---------------------------------------------------|-----------|------------|----|------------|
| ①子どもたちの創造的な活動等を支援する取組の推進      | 「ひょうご教育の日」に参加した人のうち、教育への関心が高まり、様々な形で貢献したいと思った人の割合 | 92.7%     | 90%以上      | ◎  | 100%       |
|                               | コミュニティ・スクールを導入している公立小中義務教育学校の増加 [小・中・義]【再掲】       | 71.0%     | 65%        | ◎  | 80%        |
|                               | 兵庫県版コミュニティ・スクールを導入している県立学校の増加 [高・特]【再掲】           | 56 校      | 100 校      | ▲  | 全校         |
| ②働き方改革・新たな働き方やワーク・ライフ・バランスの推進 | PTCA 教育支援活動への参加人数 [小・中]【再掲】                       | 124,999 人 | 80,000 人以上 | ◎  | 80,000 人以上 |

### [令和 8 年度の取組]

- 「兵庫の教育推進月間」及び「ひょうご教育の日」を中心に、各地域の特性をいかした地域教育イベント等を引き続き実施し、すべての県民が兵庫の教育について考える機運を高め、子どもたちの成長に関わる教育の当事者であるという意識を醸成する。

#### ④ 関係機関等との連携の強化

##### [取組状況等]

- ICT の活用を先進的に取り組んでいる学校を研究指定校として研究委員会を立ち上げ、有識者等の助言のもと、教育データを有効に活用する方法を研究し、その取組の成果の周知・普及を図った。

| 施策              | 指標名                                                      |   | R7 実績値 | R7 目標値 | 評価 | R10 目標値 |
|-----------------|----------------------------------------------------------|---|--------|--------|----|---------|
| ①関係機関等との連携の強化   | (数値目標なし)                                                 |   |        |        |    |         |
| ②教育データ利活用に関する研究 | 児童生徒一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器を、授業で週 3 回以上活用している学校の割合 | 小 | 97.8%  | 100%   | ○  | 100%    |
|                 |                                                          | 中 | 92.9%  | 100%   | ○  |         |

##### [令和 8 年度の取組]

- 各種システム間連携や生成 AI 等の活用による、教育データの効率的な収集分析方法について、更に研究を進めていく。また、県全体で、教育データ活用による個別最適な学びの推進を図るため、教育データ活用研究事業で得られた知見を、各種研修会で発表する等、横展開を図る。

#### ⑤ 子どもたちの安心・安全の確保

##### [取組状況等]

- 児童生徒に安全に対する知識や能力を身に付けさせるため、防犯・交通安全等の安全教育に取り組んだ。
- 防災教育推進連絡会議、地区別防災教育研修会等を実施し、防災教育や学校防災体制の充実に取り組んだ。

| 施策            | 指標名                                              |   | R7 実績値   | R7 目標値            | 評価 | R10 目標値 |
|---------------|--------------------------------------------------|---|----------|-------------------|----|---------|
| ①安全教育の推進      | 学校管理下における災害（負傷・疾病）発生件数〔小・中・高〕                    |   | 38,547 件 | 40,427 件<br>（前年度） | ◎  | 前年度比減   |
| ②「兵庫の防災教育」の推進 | 地域や関係機関と連携して防災（避難）訓練を実施した学校の割合〔小・中・高・特〕          |   | 81.9%    | 88%               | ○  | 100%    |
|               | 高校生被災地ボランティアを実施した（現地での活動かを問わない）県立学校数〔高・特〕        |   | 58 校     | 58 校              | ◎  | 70 校    |
| ③学校の危機管理体制の向上 | 地区別研修会の内容について教職員間での共通理解を行った学校の割合〔小・中・高・特〕        |   | 96.6%    | 88%               | ◎  | 100%    |
|               | 教材・授業研究等、防災教育に関する研修を行った学校の割合〔小・中・高・特〕            |   | 68.5%    | 68%               | ◎  | 74%     |
|               | 児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレット等の端末を、持ち帰って家庭で利用させている学校の割合 | 小 | 94.6%    | 95%               | ○  | 100%    |
|               |                                                  | 中 | 93.8%    | 94%               | ○  |         |

##### [令和 8 年度の取組]

- 市町・県立学校が実施する学校安全推進のための取組を支援するとともに、学校安全対策合同会議を開催し、校内での安全教育の充実や登下校中の交通安全等の学校安全管理体制について啓発に取り組む。
- 防災教育推進連絡会議や地区別防災教育研修会を通じて、地域や関係機関との連携方法及び学校防災マニュアルの見直しや活用方法等の周知並びに、自校の校内研修での情報共有を働きかけるとともに、学校アドバイザー等の指導・助言を活用した指定校の取組内容を「実践事例集」にまとめ県内に周知する。

### (3) 基本方針 3 安心・安全で質の高い学びを実現する教育環境の整備・充実

#### ① 教育 DX の実現に向けた教育の情報化の推進

##### [取組状況等]

- 1人1台端末を活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の授業実践を実現するとともに、働きがいのある学校づくりを進めるため、円滑・安全な ICT 環境の整備・充実を図った。

| 施策                             | 指標名                                                          |   | R7 実績値         | R7 目標値              | 評価 | R10 目標値 |
|--------------------------------|--------------------------------------------------------------|---|----------------|---------------------|----|---------|
| ① 1人1台端末の活用推進                  | 児童生徒に ICT 活用を指導することができる教員の割合                                 | 小 | 88.1%<br>(R6)  | 100%                | —  | 100%    |
|                                |                                                              | 中 | 81.2%<br>(R6)  | 100%                | —  |         |
|                                |                                                              | 高 | 81.5%<br>(R6)  | 100%                | —  |         |
|                                |                                                              | 特 | 68.9%<br>(R6)  | 100%                | —  |         |
| ② 情報活用能力（情報モラルを含む）の育成          | 情報活用の基盤となる知識や態度について指導することができる教員の割合【再掲】                       |   | 88.3%<br>(R6)  | 87%                 | —  | 100%    |
| ③ 教員の ICT 活用指導力の向上             | 授業に ICT を活用して指導することができる教員の割合                                 | 小 | 88.0%<br>(R6)  | 100%                | —  | 100%    |
|                                |                                                              | 中 | 78.7%<br>(R6)  | 100%                | —  |         |
|                                |                                                              | 高 | 78.7%<br>(R6)  | 100%                | —  |         |
|                                |                                                              | 特 | 69.4%<br>(R6)  | 100%                | —  |         |
| ④ 校務改善と教育環境充実に向けた ICT 環境の整備・充実 | 教員 1 人あたりの指導者用コンピュータ台数                                       |   | 1.17 台<br>(R6) | 1.36 台<br>(R6 全国平均) | —  | 全国平均以上  |
| ⑤ 教育データ利活用に関する研究               | 児童生徒一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器を、授業で週 3 回以上活用している学校の割合【再掲】 | 小 | 97.8%          | 100%                | ○  | 100%    |
|                                |                                                              | 中 | 92.9%          | 100%                | ○  |         |

##### [令和 8 年度の取組]

- 1人1台端末及び汎用クラウドサービス（生成 AI を含む）等を最大限活用して情報活用能力の育成を行い、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。
- 教育分野における ICT 活用の意義や必要性を改めて共有しつつ、教職員一人一人の ICT 活用指導力の向上を図るとともに、働きがいのある学校づくりを進めるため、生成 AI の利活用も含めて校務のデジタル化を図り、教育活動全体を通して情報化を推進する。

## ② 修学環境の整備・充実

### [取組状況等]

- 「第Ⅱ期県立学校施設管理実施計画（令和４～８年度）」に基づき、学校施設の長寿命化改修を計画的に実施した。
- 県立学校施設の環境改善として、選択教室や体育館の空調整備、発展的統合に伴う整備など、施設の環境改善を集中的に実施した。
- 保護者の教育費負担を軽減するため、高校生等奨学給付金事業や高等学校奨学資金貸与事業を実施した。

| 施策                 | 指標名                                | R7 実績値 | R7 目標値 | 評価 | R10 目標値 |
|--------------------|------------------------------------|--------|--------|----|---------|
| ①安心・安全な教育環境整備の推進   | 第Ⅱ期県立学校施設管理実施計画（R4～R8）に基づく長寿命化改修状況 | 8 校    | 8 校    | ◎  | *       |
|                    | 県立学校を選択教室における空調設備設置状況（累計）          | 348 室  | 383 室  | ○  | 510 室   |
| ②教育費負担の軽減に向けた経済的支援 | （数値目標なし）                           |        |        |    |         |

\*... 第Ⅱ期県立学校施設管理実施計画期間の R8 年度まで目標設定

### [令和８年度の取組]

- 老朽化が進行している県立学校施設について、県立学校施設管理計画に基づく長寿命化改修等を計画的に実施するとともに、選択教室や体育館、食堂の空調整備など、施設の環境改善を集中的に実施する。
- 経済的理由によって修学が困難な高校生等に対して、就学支援事業や高校生等奨学給付金事業、高等学校奨学資金貸与事業等の就学支援を引き続き実施する。

## ③ 教職員の資質・能力の向上

### [取組状況等]

- 質の高い多様な人材を安定的に確保するため、教員の魅力を発信する広報活動や教員採用試験の工夫・改善を実施した。

| 施策                           | 指標名         | R7 実績値 | R7 目標値 | 評価 | R10 目標値  |
|------------------------------|-------------|--------|--------|----|----------|
| ①質の高い人材の確保、資質・能力の向上          | 教員採用選考試験の倍率 | 4.0 倍  | 6.0 倍  | ▲  | 前年度実績値以上 |
| ②意欲と能力が最大限発揮できる指導・運営体制の整備・充実 |             |        |        |    |          |

### [令和８年度の取組]

- 教員の魅力発信に加え、教員採用試験の工夫・改善による優れた人材の安定的な確保を図るとともに、講師登録人材バンクの充実等、幅広い人材発掘に取り組む。
- 昨年度に引き続き、「東京」試験場における第１次筆記試験の実施や、「特別免許状授与を前提とした特別選考」の実施教科の拡大などにより、多様な人材の確保に取り組む。
- 「兵庫県管理職・教員資質向上指標」及び「兵庫県教職員研修計画」に基づき、教職員のキャリアステージ・能力・適性に応じた体系的な研修を実施するとともに、研修履歴を活用した研修受講を奨励する。

#### ④ 学校の組織力の向上

##### [取組状況等]

- 教職員が心身ともに健康でその能力を十二分に発揮できるよう、組織体制及び勤務環境の整備、ICTを活用した業務の効率化、教職員の意識改革に取り組んだ。
- 教職員の精神疾患による療養者の減少を図るため、メンタルヘルスアドバイザーや医療機関との連携により、予防対策、復職支援、復職後のフォローアップを実施した。
- 学校管理職・教育行政職特別研修や主幹教諭研修の実施により、リーダーシップを有する管理職の育成に取り組んだ。

| 施策               | 指標名                                   |   | R7 実績値  | R7 目標値           | 評価 | R10 目標値      |
|------------------|---------------------------------------|---|---------|------------------|----|--------------|
| ①働きがいのある学校づくりの推進 | 主幹教諭及び教諭の1人あたり年間平均超過勤務時間数（市町立学校）      | 小 | 317:13h | 326:27h<br>（前年度） | ◎  | 前年度比減        |
|                  |                                       | 中 | 496:09h | 年 360h<br>以内     | ▲  | 年 360h<br>以内 |
|                  | 主幹教諭及び教諭の1人あたり年間平均超過勤務時間数（県立学校）       |   | 315:04h | 324:06h<br>（前年度） | ◎  | 前年度比減        |
| ②教職員の健康管理        | 県立学校等におけるストレスチェック受検率が 80%未満の所属数       |   | 9 箇所    | 8 箇所             | △  | 5 箇所         |
| ③管理職の確保・育成       | 公立学校における校長に占める女性の割合                   |   | 23.6%   | 23%              | ◎  | 26%          |
|                  | 公立学校における教頭に占める女性の割合                   |   | 24.2%   | 27%              | △  | 32%          |
|                  | 管理職受験者層（45～54 歳）に対する受験者数の割合 [小・中・高・特] |   | 8.4%    | 6%<br>程度         | ◎  | 前年度<br>実績値以上 |
|                  | 女性管理職受験者数の割合 [小・中・高・特]                |   | 26.1%   | 30%<br>程度        | △  | 34%          |

##### [令和8年度の取組]

- 希望する小中学校全校へのスクール・サポート・スタッフの配置支援、県立学校業務支援員の配置など、外部人材を有効に活用して教職員の勤務時間の適正化を図るとともに、教育委員会・学校が関係機関等と相互に連携する。
- 教職員がワーク・ライフ・バランスを図りながら、心身ともに健康で、専門性を高め、教育活動に指導力が発揮できるよう、令和8年2月に策定した「業務量管理・健康確保措置実施計画」に基づき、業務量の削減や業務の効率化、健康の保持増進を図り、働きがいのある学校づくりに取り組む。
- 学校運営の中心となるミドルリーダーや女性管理職の育成等、これからの時代に求められる学校管理職の育成に取り組むとともに、管理職や管理職登用予定者を対象とした研修を実施し、組織マネジメントや危機管理等の実践的な学校経営力の向上を図る。

## 第4期「ひょうご教育創造プラン」に係る指標の達成状況（令和7年度実績）

### 基本方針1 予測困難な時代を生き抜く力を育む教育の推進

#### 基本的方向(1) 「確かな学力」の育成

| 施策 | 指標                                                              |    | R6実績値          | R7実績値          | R7目標値            | 評価              | R8目標   | R9目標   | R10目標  |
|----|-----------------------------------------------------------------|----|----------------|----------------|------------------|-----------------|--------|--------|--------|
| ①  | 「全国学力・学習状況調査」における学力調査結果（平均正答率）【小】                               | 国語 | 68 %           | 68 %           | 67 %<br>（全国平均）   | ◎               | 全国平均以上 | 全国平均以上 | 全国平均以上 |
|    |                                                                 | 算数 | 65 %           | 59 %           | 58 %<br>（全国平均）   | ◎               |        |        |        |
|    | 「全国学力・学習状況調査」における学力調査結果（平均正答率）【中】                               | 国語 | 58 %           | 54 %           | 54 %<br>（全国平均）   | ◎               | 全国平均以上 | 全国平均以上 | 全国平均以上 |
|    |                                                                 | 数学 | 55 %           | 49 %           | 48 %<br>（全国平均）   | ◎               |        |        |        |
|    |                                                                 | 英語 | 47 %<br>（R5）   | 47 %<br>（R5）   | 46 %<br>（R5全国平均） | ※               |        |        |        |
|    | 授業では、課題の解決に向けて、自分から取り組んでいた児童生徒の割合                               | 小  | 80.1 %         | 78.7 %         | 80.3 %<br>（全国平均） | ○               | 全国平均以上 | 全国平均以上 | 全国平均以上 |
|    |                                                                 | 中  | 76.3 %         | 72.5 %         | 77.7 %<br>（全国平均） | ○               |        |        |        |
|    | 対話的な学び・深い学びをしている生徒の割合【高】                                        |    |                | 75.4 %         | 76.1 %           | 76 %            | ◎      | 78%    | 80%    |
| ②  | 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを含めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると思う児童生徒の割合 | 小  | 84.5 %         | 83.6 %         | 84.9 %<br>（全国平均） | ○               | 全国平均以上 | 全国平均以上 | 全国平均以上 |
|    |                                                                 | 中  | 83.0 %         | 82.3 %         | 84.7 %<br>（全国平均） | ○               |        |        |        |
|    | 「学校の授業がよく分かる」と感じている生徒の割合【高】                                     |    | 61.6 %         | 62.2 %         | 65 %             | ○               | 65%    | 65%    | 65%    |
| ③  | 情報活用の基盤となる知識や態度について指導することができる教員の割合                              |    | 87.2 %<br>（R5） | 88.3 %<br>（R6） | 87 %             | —               | 94%    | 97%    | 100%   |
| ④  | CEFR A1レベル相当以上の英語力を有すると思われる中学3年生の割合                             |    | 38.7 %         | 42.4 %         | 50 %             | △               | 50%    | 50%    | 50%    |
|    | CEFR A2レベル相当以上の英語力を有すると思われる高校3年生の割合                             |    | 56.2 %         | 55.3 %         | 57 %             | ○               | 59%    | 60%    | 60%    |
| ⑤  | 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた学校の割合                  | 小  | 85.1 %         | 84.9 %         | 86.9 %<br>（全国平均） | ○               | 全国平均以上 | 全国平均以上 | 全国平均以上 |
|    |                                                                 | 中  | 75.1 %         | 72.4 %         | 80.3 %<br>（全国平均） | ○               |        |        |        |
|    | 総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をした学校の割合              | 小  | 90.4 %         | 92.0 %         | 92.7 %<br>（全国平均） | ○               | 全国平均以上 | 全国平均以上 | 全国平均以上 |
|    |                                                                 | 中  | 84.8 %         | 84.4 %         | 91.5 %<br>（全国平均） | ○               |        |        |        |
|    | 探究活動に関わる発表会等で発表した生徒の割合【高】                                       |    |                | 67.7 %         | 68.2 %           | 67.7 %<br>（前年度） | ◎      | 前年度比増  | 前年度比増  |
| ⑥  | 自校の魅力・特色を実感している生徒の割合【高】                                         |    | 77 %           | 72.7 %         | 81 %             | △               | 82%    | 83%    | 84%    |

#### 基本的方向(2) 「豊かな心」の育成

| 施策 | 指標                                                       |   | R6実績値  | R7実績値  | R7目標値            | 評価 | R8目標   | R9目標   | R10目標  |
|----|----------------------------------------------------------|---|--------|--------|------------------|----|--------|--------|--------|
| ①  | 自然学校で主体的な活動を促す取組を実施した学校の割合                               |   | 97 %   | 98.4 % | 100 %            | ○  | 100%   | 100%   | 100%   |
| ②  | 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合                           | 小 | 83.5 % | 80.9 % | 81.3<br>(全国平均) % | ○  | 全国平均以上 | 全国平均以上 | 全国平均以上 |
|    |                                                          | 中 | 76.1 % | 75.1 % | 75.3<br>(全国平均) % | ○  |        |        |        |
|    | 自発的に地域活動やボランティア活動（地域の祭り等の伝統行事や清掃活動等：学校行事除く）に参加した生徒の割合〔高〕 |   | 33.3 % | 34.1 % | 40 %             | △  | 40%    | 40%    | 40%    |

| 施策 | 指標                                                                 |   | R6実績値          | R7実績値          | R7目標値              | 評価 | R8目標   | R9目標   | R10目標  |
|----|--------------------------------------------------------------------|---|----------------|----------------|--------------------|----|--------|--------|--------|
| ③  | 特別の教科 道徳において、取り上げる題材を児童生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしている学校の割合 | 小 | 95.6 %         | 96.8 %         | 96.6 %<br>(全国平均)   | ◎  | 全国平均以上 | 全国平均以上 | 全国平均以上 |
|    |                                                                    | 中 | 94.5 %         | 96.2 %         | 97.1 %<br>(全国平均)   | ○  |        |        |        |
|    | 自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合                                             | 小 | 83.5 %         | 86.1 %         | 86.9 %<br>(全国平均)   | ○  | 全国平均以上 | 全国平均以上 | 全国平均以上 |
|    |                                                                    | 中 | 83.0 %         | 85.3 %         | 86.2 %<br>(全国平均)   | ○  |        |        |        |
| ④  | 人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合                                            | 小 | 96.3 %         | 96.5 %         | 96.4 %<br>(全国平均)   | ◎  | 全国平均以上 | 全国平均以上 | 全国平均以上 |
|    |                                                                    | 中 | 95.6 %         | 96.7 %         | 96.6 %<br>(全国平均)   | ◎  |        |        |        |
| ⑤  | いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合                                   | 小 | 96.4 %         | 97.0 %         | 100 %              | ○  | 100%   | 100%   | 100%   |
|    |                                                                    | 中 | 95.7 %         | 95.9 %         | 100 %              | ○  |        |        |        |
|    | いじめの実態把握のため、アンケート調査を実施している学校の割合（学期に1回以上）                           | 小 | 100<br>(R5) %  | 100<br>(R6) %  | 100 %              | —  | 100%   | 100%   | 100%   |
|    |                                                                    | 中 | 100<br>(R5) %  | 100<br>(R6) %  | 100 %              | —  |        |        |        |
|    |                                                                    | 高 | 100<br>(R5) %  | 100<br>(R6) %  | 100 %              | —  |        |        |        |
| ⑥  | 不登校児童生徒数の全児童生徒数に占める割合<br>〔小・中・高〕                                   |   | 3.49<br>(R5) % | 3.43<br>(R6) % | 3.69<br>(R6全国平均) % | —  | 全国平均以下 | 全国平均以下 | 全国平均以下 |
|    | 不登校児童生徒が学校内外の機関等で専門的な相談・指導等を受けた割合〔小・中〕                             |   | 46.3<br>(R5) % | 47.0<br>(R6) % | 61.7<br>(R6全国平均) % | —  | 全国平均以上 | 全国平均以上 | 全国平均以上 |
| ⑦  | 学校の授業時間以外に、平日全く本を読まない児童生徒の割合                                       | 小 | 25.3<br>(R5) % | 30.4 %         | 29.2<br>(全国平均) %   | ○  | 全国平均以下 | 全国平均以下 | 全国平均以下 |
|    |                                                                    | 中 | 41.7<br>(R5) % | 45.4 %         | 41.8<br>(全国平均) %   | ○  |        |        |        |
|    | 1か月に1冊も本を読まない生徒の割合〔高〕                                              |   | 65.3 %         | 66.0 %         | 55.7<br>(全国平均) %   | △  | 全国平均以下 | 全国平均以下 | 全国平均以下 |

基本的方向(3) 「健やかな体」の育成

| 施策 | 指標                                      |   | R6実績値       | R7実績値       | R7目標値        | 評価 | R8目標   | R9目標  | R10目標 |
|----|-----------------------------------------|---|-------------|-------------|--------------|----|--------|-------|-------|
| ①  | 規則正しく1日3度（朝・昼・夕）食事をすることは大切であるとする児童生徒の割合 | 小 | 97.0 %      | 96.9 %      | 100 %        | ○  | 100%   | 100%  | 100%  |
|    |                                         | 中 | 96.2 %      | 97.5 %      | 100 %        | ○  |        |       |       |
|    | 薬物乱用防止教室を開催した学校の割合                      | 中 | 87.4 (R5) % | 87.4 (R5) % | 100 %        | —  | 100%   | 100%  | 100%  |
|    |                                         | 高 | 97.8 (R5) % | 97.8 (R5) % | 100 %        | —  |        |       |       |
| ②  | 1週間の総運動時間（体育授業を除く）が60分未満の児童生徒割合の減少      | 小 | 11.9 %      | 13.6 %      | 11.9 (前年度) % | △  | 前年度比減  | 前年度比減 | 前年度比減 |
|    |                                         | 中 | 15.1 %      | 15.2 %      | 15.1 (前年度) % | ○  |        |       |       |
| ③  | 地域展開又は地域連携に取り組む市町数                      |   | 34 市町組合     | 38 市町組合     | 38 市町組合      | ◎  | 42市町組合 | *     |       |

\*兵庫県部活動地域移行計画により全市町組合教委で取り組むこととしているR8まで目標設定

基本的方向(4) 社会的自立に必要な資質・能力・態度の育成

| 施策 | 指標                                               |   | R6実績値          | R7実績値  | R7目標値              | 評価 | R8目標   | R9目標   | R10目標  |
|----|--------------------------------------------------|---|----------------|--------|--------------------|----|--------|--------|--------|
| ①  | 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合                             | 小 | 81.9 %         | 82.3 % | 83.1<br>(全国平均) %   | ○  | 全国平均以上 | 全国平均以上 | 全国平均以上 |
|    |                                                  | 中 | 64.2 %         | 65.2 % | 67.5<br>(全国平均) %   | ○  |        |        |        |
|    | 将来の生き方や職業について考え、それを実現するために努力している生徒の割合〔高〕         |   | 65.5 %         | 67.3 % | 71 %               | ○  | 72%    | 73%    | 74%    |
| ②  | 学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行った学校の割合 | 小 | 99.1<br>(R5) % | 99.1 % | 98.9<br>(R5全国平均) % | ※  | 全国平均以上 | 全国平均以上 | 全国平均以上 |
|    |                                                  | 中 | 97.3<br>(R5) % | 97.3 % | 98.3<br>(R5全国平均) % | ※  |        |        |        |

| 施策 | 指標                                                           | R6実績値 | R7実績値 | R7目標値                 | 評価 | R8目標 | R9目標 | R10目標 |
|----|--------------------------------------------------------------|-------|-------|-----------------------|----|------|------|-------|
| ③  | 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合                               | 小     | 中     | 基本方針 1－基本的方向 (2)－② 参照 |    |      |      |       |
|    |                                                              |       |       |                       |    |      |      |       |
|    | 自発的に地域活動やボランティア活動（地域の祭り等の伝統行事や清掃活動等：学校行事除く）に参加した生徒の割合【高】【再掲】 |       |       |                       |    |      |      |       |

基本的方向 (5) 特別支援教育の推進

| 施策 | 指標                                                        | R6実績値  | R7実績値  | R7目標値  | 評価 | R8目標  | R9目標  | R10目標 |
|----|-----------------------------------------------------------|--------|--------|--------|----|-------|-------|-------|
| ①  | 「個別的教育支援計画」等の引継ぎが必要な生徒のうち、進学先の高等学校等への引継ぎを行った生徒の割合【中・高】    | 93.6 % | 92.6 % | 97.6 % | ○  | 98.6% | 99.6% | 100%  |
|    | 県立特別支援学校高等部から一般就労した卒業生の割合【特】                              | 24.7 % | 26.8 % | 31.5 % | △  | 32.5% | 33.5% | 34.5% |
|    | 副籍を生かした居住地校交流の実施率【特】                                      | 33.8 % | 34.0 % | 43.7 % | △  | 45.8% | 47.9% | 50%   |
| ②  | 教育・家庭・福祉との連携に向けて、放課後等デイサービス事業所とケース会議を開催した学校の割合【小・中・特】     | 61.5 % | 70.2 % | 66.6 % | ◎  | 67.8% | 69.0% | 70.2% |
|    | 県立特別支援学校における福祉、企業、地域等関係者を対象としたオープンスクール実施日数（1校あたりの平均日数）【特】 | 5.8 日  | 6.9 日  | 6.6 日  | ◎  | 7.2日  | 7.9日  | 8.5日  |

基本的方向 (6) 幼児期の教育の充実

| 施策 | 指標                                   | R6実績値  | R7実績値  | R7目標値 | 評価 | R8目標 | R9目標 | R10目標 |
|----|--------------------------------------|--------|--------|-------|----|------|------|-------|
| ①  | 家庭や地域と連携した保育活動を実施している公立幼稚園・認定こども園の割合 | 98.7 % | 98.6 % | 100 % | ○  | 100% | 100% | 100%  |
| ②  | 小学校との連携を実施した公立幼稚園・認定こども園の割合          | 99.3 % | 99.3 % | 100 % | ○  | 100% | 100% | 100%  |

基本的方向 (7) 高等教育（大学）の推進

| 施策 | 指標                                           | R6実績値   | R7実績値   | R7目標値           | 評価 | R8目標       | R9目標       | R10目標      |
|----|----------------------------------------------|---------|---------|-----------------|----|------------|------------|------------|
| ①  | 県立大学における留学生数（派遣人数）                           | 139 人   | 173 人   | 200 人           | △  | 200人       | 200人       | 200人       |
|    | 県立大学における留学生数（受入人数）                           | 275 人   | 299 人   | 250 人           | ◎  | 250人       | 250人       | 250人       |
|    | 専門職大学における海外の大学との協定件数（累計）                     | 11 件    | 13 件    | 10 件            | ◎  | 10件        | 10件        | 10件        |
| ②  | 県立大学における地域連携事業の実施件数                          | 1,581 件 | 1,579 件 | 1,250 件         | ◎  | 1,250件     | 1,250件     | 1,250件     |
|    | 県立大学における共同研究・受託研究数                           | 235 件   | 248 件   | 300 件           | △  | 300件       | 300件       | 300件       |
|    | 専門職大学地域リサーチ&イノベーションセンターにおける地域連携事業への参加学生数（累計） | 199 人   | 256 人   | 180 人           | ◎  | 180人       | 180人       | 180人       |
| ③  | 先端DX（デジタルトランスフォーメーション）人材の育成数                 | 170 人   | 169 人   | 183 人           | ○  | 183人       | 183人       | 183人       |
|    | 県立大学における入学志願者倍率（学部・一般選抜）                     | 6.9 倍   | 6.5 倍   | 5.6 倍<br>(全国平均) | ◎  | 全国平均<br>以上 | 全国平均<br>以上 | 全国平均<br>以上 |

基本的方向 (8) 私学教育の振興

| 施策 | 指標                  | R6実績値   | R7実績値   | R7目標値   | 評価 | R8目標   | R9目標   | R10目標  |
|----|---------------------|---------|---------|---------|----|--------|--------|--------|
| ①  | 私学展・私学フェスティバルへの来場者数 | 4,076 人 | 8,427 人 | 4,500 人 | ◎  | 5,400人 | 5,400人 | 5,400人 |
| ②  | 専門学校フェスタへの来場者数      | 6,175 人 | 6,407 人 | 6,500 人 | ○  | 6,500人 | 6,500人 | 6,500人 |

基本的方向(9) 人生100年を通じた学びの推進

| 施策 | 指標                                          | R6実績値     | R7実績値     | R7目標値       | 評価 | R8目標       | R9目標       | R10目標      |
|----|---------------------------------------------|-----------|-----------|-------------|----|------------|------------|------------|
| ①  | 社会教育関係職員等研修の受講者数                            | 1,189 人   | 1,195 人   | 1,000 人以上   | ◎  | 1,000人以上   | 1,000人以上   | 1,000人以上   |
| ②  | 美術館・博物館における特別展等の内容に満足している来館者の割合             | 90.9 %    | 91.7 %    | 92 %以上      | ○  | 93%以上      | 94%以上      | 95%以上      |
|    | 県立社会教育施設における多様な学びのプログラムに参加した人数              | 108,996 人 | 121,147 人 | 120,000 人以上 | ◎  | 120,000人以上 | 120,000人以上 | 120,000人以上 |
| ③  | 住んでいる地域には、自慢したい地域の「宝」(風景や産物、文化など)があると思う人の割合 | 40.9 %    | 43.3 %    | 47 %        | ○  | 48%        | 49%        | 50%        |
| ④  | 国民スポーツ大会で入賞(種別)する競技団体数の増加                   | 20 団体     | 21 団体     | 26 団体       | △  | 28団体       | 28団体       | 28団体       |

基本方針2 すべての子どもたちが自分らしく安心して過ごせる学校・家庭・地域等の構築

基本的方向(1) 多様性の尊重と包摂性のある教育の推進

| 施策 | 指標                                                             | R6実績値               | R7実績値  | R7目標値  | 評価     | R8目標 | R9目標  | R10目標 |       |
|----|----------------------------------------------------------------|---------------------|--------|--------|--------|------|-------|-------|-------|
| ①  | 「個別的教育支援計画」等の引継ぎが必要な生徒のうち、進学先の高等学校等への引継ぎを行った生徒の割合【中・高】 【再掲】    | 基本方針１－基本的方向(5)－① 参照 |        |        |        |      |       |       |       |
|    | 県立特別支援学校高等部から一般就労した卒業生の割合【特】 【再掲】                              |                     |        |        |        |      |       |       |       |
|    | 副籍を生かした居住地校交流の実施率【特】 【再掲】                                      |                     |        |        |        |      |       |       |       |
|    | 教育・家庭・福祉との連携に向けて、放課後等デイサービス事業所とケース会議を開催した学校の割合【小・中・特】 【再掲】     | 基本方針１－基本的方向(5)－② 参照 |        |        |        |      |       |       |       |
|    | 県立特別支援学校における福祉、企業、地域等関係者を対象としたオープンスクール実施日数（１校あたりの平均日数）【特】 【再掲】 |                     |        |        |        |      |       |       |       |
| ②  | 不登校児童生徒数の全児童生徒数に占める割合【小・中・高】 【再掲】                              | 基本方針１－基本的方向(2)－⑥ 参照 |        |        |        |      |       |       |       |
|    | 不登校児童生徒が学校内外の機関等で専門的な相談・指導等を受けた割合【小・中】 【再掲】                    |                     |        |        |        |      |       |       |       |
| ③  | 日本語指導が必要な外国人児童生徒等に対し、日本語による日本語指導を実施している学校の割合【小・中・高・特】          | 88 %                | 82.2 % | 88.5 % | ○      | 89%  | 89.5% | 90%   |       |
| ④  | 個別の人権課題「女性」に取り組んだ学校の割合                                         | 小                   | 80.4 % | 84.1 % | 75.5 % | ◎    | 81.5% | 82.5% | 83.5% |
|    |                                                                | 中                   | 79.2 % | 80.3 % | 79.5 % | ◎    |       |       |       |
|    |                                                                | 高                   | 94.6 % | 94.6 % | 93.5 % | ◎    |       |       |       |

基本的方向(2) 学校・家庭・地域との協働による豊かな学びの推進

| 施策 | 指標                                     | R6実績値     | R7実績値     | R7目標値      | 評価 | R8目標      | R9目標      | R10目標     |
|----|----------------------------------------|-----------|-----------|------------|----|-----------|-----------|-----------|
| ①  | PTCA 教育支援活動への参加人数【小・中】                 | 122,562 人 | 124,999 人 | 80,000 人以上 | ◎  | 80,000人以上 | 80,000人以上 | 80,000人以上 |
| ②  | コミュニティ・スクールを導入している公立小中義務教育学校の増加【小・中・義】 | 63.8 %    | 71.0 %    | 65 %       | ◎  | 73%       | 75%       | 80%       |
|    | 兵庫県版コミュニティ・スクールを導入している県立学校の増加【高・特】     | 40 校      | 56 校      | 100 校      | ▲  | 全校        | 全校        | 全校        |

基本的方向(3) 子供の育ちを社会全体で支える取組の推進

| 施策 | 指標                                                | R6実績値               | R7実績値  | R7目標値  | 評価 | R8目標 | R9目標 | R10目標 |
|----|---------------------------------------------------|---------------------|--------|--------|----|------|------|-------|
| ①  | 「ひょうご教育の日」に参加した人のうち、教育への関心が高まり、様々な形で貢献したいと思った人の割合 | 97.1 %              | 92.7 % | 90 %以上 | ◎  | 100% | 100% | 100%  |
|    | コミュニティ・スクールを導入している公立小中義務教育学校の増加【小・中・義】【再掲】        | 基本方針2－基本的方向(2)－② 参照 |        |        |    |      |      |       |
|    | 兵庫県版コミュニティ・スクールを導入している県立学校の増加【高】【再掲】              |                     |        |        |    |      |      |       |

| 施策 | 指標                              | R6実績値                 | R7実績値 | R7目標値 | 評価 | R8目標 | R9目標 | R10目標 |
|----|---------------------------------|-----------------------|-------|-------|----|------|------|-------|
| ②  | PTCA 教育支援活動への参加人数 [小・中]<br>【再掲】 | 基本方針 2－基本的方向 (2)－① 参照 |       |       |    |      |      |       |

基本的方向 (4) 関係機関等との連携の強化

| 施策 | 指標                                                     |   | R6実績値  | R7実績値  | R7目標値 | 評価 | R8目標 | R9目標 | R10目標 |
|----|--------------------------------------------------------|---|--------|--------|-------|----|------|------|-------|
| ①  | (数値目標なし)                                               |   |        |        |       |    |      |      |       |
| ②  | 児童生徒一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器を、授業で週3回以上活用している学校の割合 | 小 | 93.7 % | 97.8 % | 100 % | ○  | 100% | 100% | 100%  |
|    |                                                        | 中 | 90.6 % | 92.9 % | 100 % | ○  |      |      |       |

基本的方向 (5) 子どもたちの安心・安全の確保

| 施策 | 指標                                                |   | R6実績値    | R7実績値    | R7目標値              | 評価 | R8目標      | R9目標      | R10目標     |
|----|---------------------------------------------------|---|----------|----------|--------------------|----|-----------|-----------|-----------|
| ①  | 学校管理下における災害（負傷・疾病）発生件数<br>〔小・中・高〕                 |   | 40,427 件 | 38,547 件 | 40,427 件<br>(全国平均) | ◎  | 前年度比<br>減 | 前年度比<br>減 | 前年度比<br>減 |
| ②  | 地域や関係機関と連携して防災（避難）訓練を実施した学校の割合〔小・中・高・特〕           |   | 82.5 %   | 81.9 %   | 88 %               | ○  | 92%       | 95%       | 100%      |
|    | 高校生被災地ボランティアを実施した（現地での活動かを問わない）県立学校数〔高・特〕         |   | 63 校     | 58 校     | 58 校               | ◎  | 62校       | 66校       | 70校       |
| ③  | 地区別研修会の内容について教職員間での共通理解を行った学校の割合〔小・中・高・特〕         |   | 91.5 %   | 96.6 %   | 88 %               | ◎  | 92%       | 95%       | 100%      |
|    | 教材・授業研究等、防災教育に関する研修を行った学校の割合〔小・中・高・特〕             |   | 66.1 %   | 68.5 %   | 68 %               | ◎  | 70%       | 72%       | 74%       |
|    | 児童生徒一人一人に配備された PC・タブレット等の端末を、持ち帰って家庭で利用させている学校の割合 | 小 | 94.8 %   | 94.6 %   | 95 %               | ○  | 97%       | 99%       | 100%      |
|    |                                                   | 中 | 93.2 %   | 93.8 %   | 94 %               | ○  | 96%       | 98%       |           |

基本方針 3 安心・安全で質の高い学びを実現する教育環境の整備・充実

基本的方向 (1) 教育DXの実現に向けた教育の情報化の推進

| 施策 | 指標                                                           |   | R6実績値                | R7実績値          | R7目標値               | 評価 | R8目標       | R9目標       | R10目標      |
|----|--------------------------------------------------------------|---|----------------------|----------------|---------------------|----|------------|------------|------------|
| ①  | 児童生徒に ICT 活用を指導することができる教員の割合                                 | 小 | 86.8<br>(R5) %       | 88.1<br>(R6) % | 100 %               | —  | 100%       | 100%       | 100%       |
|    |                                                              | 中 | 78.8<br>(R5) %       | 81.2<br>(R6) % | 100 %               | —  |            |            |            |
|    |                                                              | 高 | 79.3<br>(R5) %       | 81.5<br>(R6) % | 100 %               | —  |            |            |            |
|    |                                                              | 特 | 67.9<br>(R5) %       | 68.9<br>(R6) % | 100 %               | —  |            |            |            |
| ②  | 情報活用の基盤となる知識や態度について指導することができる教員の割合【再掲】                       |   | 基本方針 1－基本的方向(1)－③ 参照 |                |                     |    |            |            |            |
| ③  | 授業に ICT を活用して指導することができる教員の割合                                 | 小 | 86.0<br>(R5) %       | 88.0<br>(R6) % | 100 %               | —  | 100%       | 100%       | 100%       |
|    |                                                              | 中 | 77.0<br>(R5) %       | 78.7<br>(R6) % | 100 %               | —  |            |            |            |
|    |                                                              | 高 | 76.6<br>(R5) %       | 78.7<br>(R6) % | 100 %               | —  |            |            |            |
|    |                                                              | 特 | 69.1<br>(R5) %       | 69.4<br>(R6) % | 100 %               | —  |            |            |            |
| ④  | 教員 1 人あたりの指導者用コンピュータ台数                                       |   | 0.98<br>(R5) 台       | 1.17<br>(R6) 台 | 1.36<br>(R6 全国平均) 台 | —  | 全国平均<br>以上 | 全国平均<br>以上 | 全国平均<br>以上 |
| ⑤  | 児童生徒一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器を、授業で週 3 回以上活用している学校の割合【再掲】 | 小 | 基本方針 2－基本的方向(4)－② 参照 |                |                     |    |            |            |            |
|    |                                                              | 中 |                      |                |                     |    |            |            |            |

基本的方向(2) 修学環境の整備・充実

| 施策 | 指標                                 | R6実績値 | R7実績値 | R7目標値 | 評価 | R8目標 | R9目標 | R10目標 |
|----|------------------------------------|-------|-------|-------|----|------|------|-------|
| ①  | 第Ⅱ期県立学校施設管理実施計画（R4～R8）に基づく長寿命化改修状況 | 8 校   | 8 校   | 8 校   | ◎  | 8校   | *    |       |
|    | 県立学校の選択教室における空調設備設置状況（累計）          | 274 室 | 348 室 | 383 室 | ○  | 434室 | 484室 | 510室  |
| ②  | （数値目標なし）                           |       |       |       |    |      |      |       |

\* 第Ⅱ期県立学校施設管理実施計画期間のR8年度まで目標設定

基本的方向(3) 教職員の資質・能力の向上

| 施策 | 指標          | R6実績値 | R7実績値 | R7目標値 | 評価 | R8目標     | R9目標     | R10目標    |
|----|-------------|-------|-------|-------|----|----------|----------|----------|
| ①  | 教員採用選考試験の倍率 | 4.2 倍 | 4.0 倍 | 6.0 倍 | ▲  | 前年度実績値以上 | 前年度実績値以上 | 前年度実績値以上 |
| ②  |             |       |       |       |    |          |          |          |

基本的方向(4) 学校の組織力の向上

| 施策 | 指標                                   |   | R6実績値    | R7実績値    | R7目標値             | 評価 | R8目標     | R9目標     | R10目標    |
|----|--------------------------------------|---|----------|----------|-------------------|----|----------|----------|----------|
| ①  | 主幹教諭及び教諭の1人あたり年間平均超過勤務時間数（市町立学校）     | 小 | 326:27 h | 317:13 h | 326:27 h<br>（前年度） | ◎  | 前年度比減    | 前年度比減    | 前年度比減    |
|    |                                      | 中 | 501:48 h | 496:09 h | 360:00 h          | ▲  | 年360h以内  | 年360h以内  | 年360h以内  |
|    | 主幹教諭及び教諭の1人あたり年間平均超過勤務時間数（県立学校）      |   | 324:06 h | 315:04 h | 324:06 h<br>（前年度） | ◎  | 前年度比減    | 前年度比減    | 前年度比減    |
| ②  | 県立学校等におけるストレスチェック受検率が80%未満の所属数       |   | 9 箇所     | 9 箇所     | 8 箇所              | △  | 7箇所      | 6箇所      | 5箇所      |
| ③  | 公立学校における校長に占める女性の割合                  |   | 21.7 %   | 23.6 %   | 23 %              | ◎  | 24%      | 25%      | 26%      |
|    | 公立学校における教頭に占める女性の割合                  |   | 24.6 %   | 24.2 %   | 27 %              | △  | 29%      | 31%      | 32%      |
|    | 管理職受検者層（45～54 歳）に対する受検者数の割合〔小・中・高・特〕 |   | 7.7 %    | 8.4 %    | 6 %<br>程度         | ◎  | 前年度実績値以上 | 前年度実績値以上 | 前年度実績値以上 |
|    | 女性管理職受検者数の割合〔小・中・高・特〕                |   | 25.5 %   | 26.1 %   | 30 %<br>程度        | △  | 32%      | 33%      | 34%      |